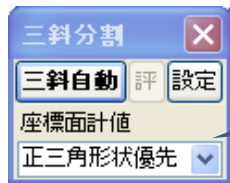
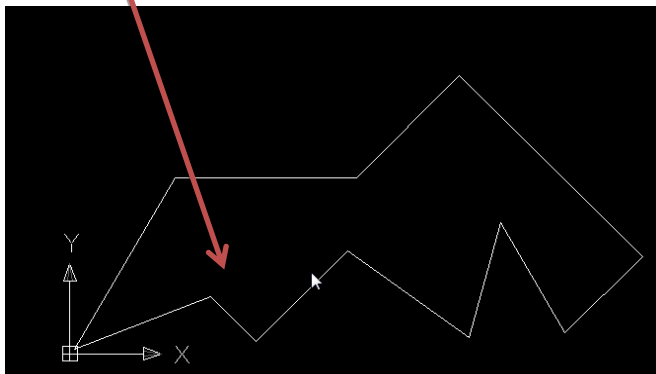


起動直後の画面です

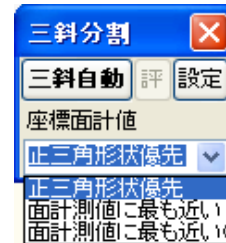


三斜自動ボタンを押し
ACAD筆内を指示

この段階でESCキーを押せば中断します



面の作成には、AutoCADのBOUNDARY機能を使っています。
作成する面全体が、画面内にないといけません



正三角形優先モードか

正三角形優先モードとは、できるだけ正三角形に近い集まりのパターンを選択します。

面計測値に最も近いモードとは、機械面積に最も近いパターンを選択します。

いずれも、全ての組み合わせの三

処理終了後の画面です



機械面積

機械面積との差異(1/100%)

本プログラムは、すべてのパターンの三角形組み合わせを算出します。

そのなかから、ある条件のパターンを自動的に選択します。

今回は、最も正三角形に近いと思われるパターンと
最も、座標面計に近いパターンの2種類を選択できます。

中断



図形の形状によっては、全パターンを作成するには、大変な時間がかかり待たされます。その場合には、中断によって、そこまでのパターンを利用できます。

パターンは、組み合わせの前に、正三角形でソートしていますので
そこそこのものができていると思います

作成された組み合わせパターン数

基本三角形の総数です。50以上では、大変時間がかかり

現在の調査組み合わせと、トップ位置です。参考程度です

設定画面です

三斜条件設定

計測縮尺 1/① 100

設定縮尺 1/② 50

① ②

① 計測縮尺は、計測距離の縮尺です。実際のAutoCADの長さに掛けられます

② 設定縮尺は、文字高さ等の設定値に掛けられます。例えば文字高さ 2 の設定縮尺 1/50ならAutoCAD上、100 の高さになります

画面を閉じます

求籍には、三斜とヘロンが選択できます

計測中にログを保存します
ログは、アプリケーションフォルダーへ保存されます。

① 計測縮尺は、計測距離の縮尺です。実際のAutoCADの長さに掛けられます

② 設定縮尺は、文字高さ等の設定値に掛けられます。例えば文字高さ 2 の設定縮尺 1/50ならAutoCAD上、100 の高さになります

ファイル名指定でログを保存します

ログ等中間ファイルの削除を行います
ログは、徐々に溜まっていきますので、定期的に削除が必要になります。

No

三斜分割

面積表 評 設定

10007.496 50.05

正三角形形状優先

No 1 最大

初期 184:224

Noは、次の計測時の開始番号になります。
計測後の挙動は、設定画面で行います。3通りの挙動があります

計測後のNo値

☒ 1 に固定 ☐ 最大値+1

☐ 定量値で増加 3

表

三斜表(横文字数)					ヘロン(横文字数)				
No	高さ	底辺	面積		No	a	b	c	面積
3	10	10	14		3	8	8	8	14

求籍表の各項目の横幅を設定できます

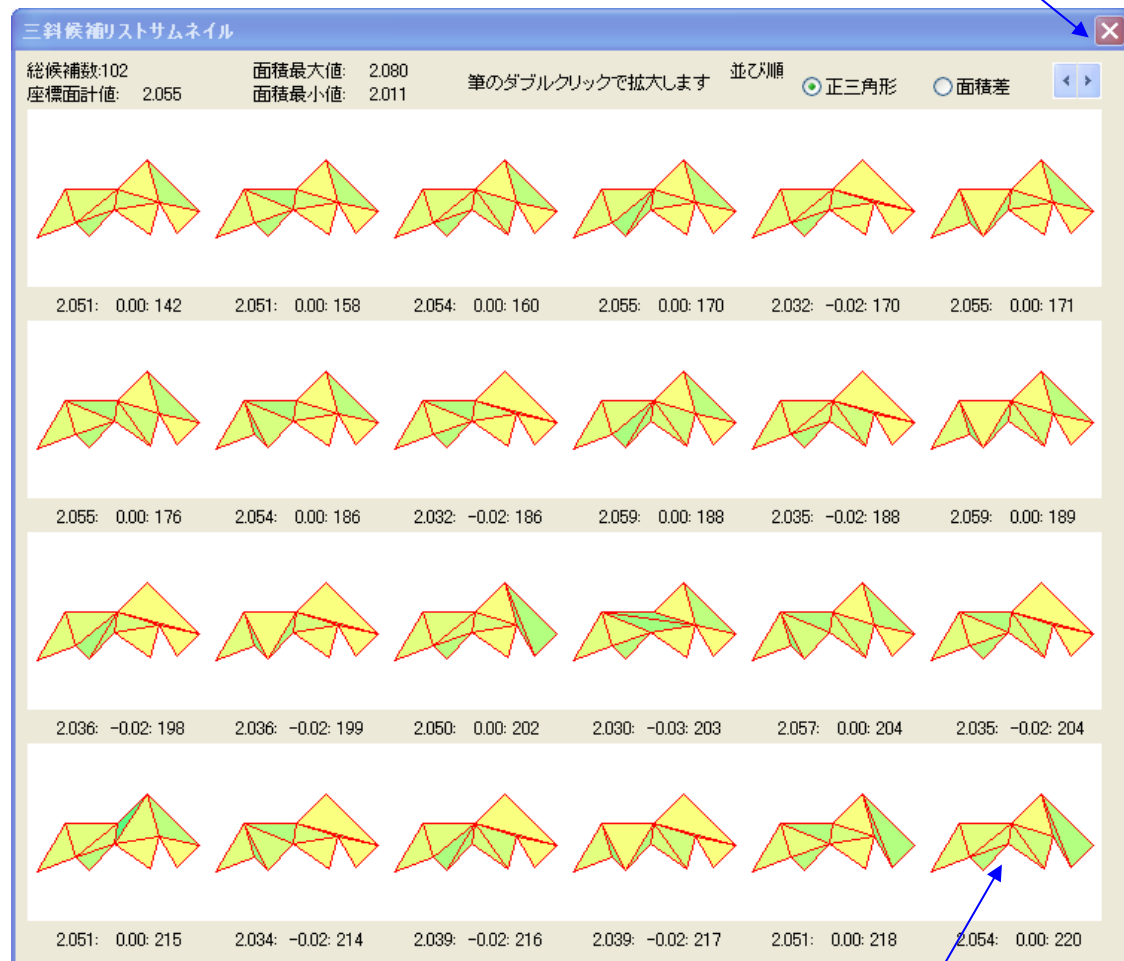
値は、文字数です。文字高さに対する掛け数で行います



評価画面

作成された全パターンを一覧表示します

閉じます



画像下の値は、面積、面先差分、正三角形評価数値です。
黄色に近い三角形ほど、正三角形に近いと判断しています。

画像のダブルクリックで拡大画面に移動します

作成された全ての三斜分割データを閲覧する画面です

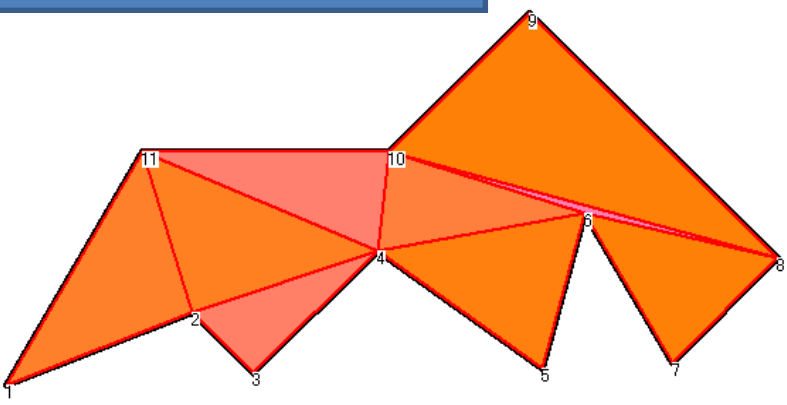
三斜候補

総候補数:102
面積最大値: 2.080300
面積最小値: 2.010700
座標面計値: 2.055232
186

フィルター
選択三斜置き換え

2.072
2.071
2.073
2.053
2.072
2.076
2.075
2.074
2.073
2.076
2.057
2.075
2.057
2.056
2.060
2.060
2.076
2.076
2.077
2.058
2.076
2.080
2.079
2.078
2.077
2.080
2.061
2.080
2.051
2.050
2.051
2.032
2.050
2.054
2.052

下でクリックした分三斜データにACADデータを置き換えます。



クリックで、右側に図形が表示されます。
リストは、面積でソートされています。

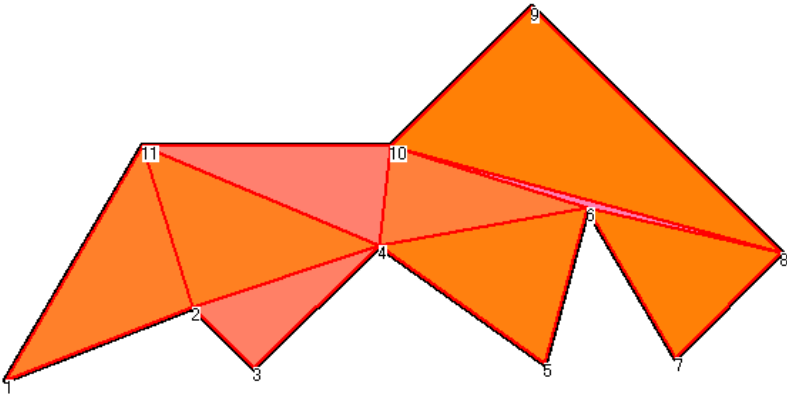
三斜候補

総候補数:102
面積最大値: 2.080300
面積最小値: 2.010700
座標面計値: 2.055232
186

4,6,10
 フィルター
選択三斜置き換え

2.072
2.071
2.073
2.053
2.072
2.076
2.075
2.074
2.073
2.076
2.057
2.075
2.057
2.056
2.060
2.060
2.076
2.076
2.077
2.058
2.076
2.080
2.079
2.078
2.077
2.080
2.061
2.080
2.051
2.050
2.051
2.032
2.050
2.054
2.052

点番号を昇順に指定(カンマ区切り)し、フィルターボタンを押すことで、指定三角形を含む三斜候補のみをリストに表示します。



三斜条件設定

計測縮尺 1/ 1 ☐ 三斜 ☒ ヘロン

設定縮尺 1/ 1 ☐ ログ保存

辺、高さ

文字高 3

番号字高 4

番号半径 5

画層

文字 S_TEXT

辺の線分 S_HEN

高さ線分 S_TAKASA

長さ

2

☐ 切り捨て ☒ 四捨五入 ☐ 切り上げ ☐ 五捨五入

面積

4

☐ 切り捨て ☒ 四捨五入 ☐ 切り上げ ☐ 五捨五入

結果

2

☐ 切り捨て ☒ 四捨五入 ☐ 切り上げ ☐ 五捨五入

求積表

文字高 4 画層 S_HYO

行高 8

画層作成

ログ保存

計測後のNo値

☒ 1 に固定 ☐ 最大値+1

☐ 定量値で増加 3

履歴削除

計算制限値 0

三斜表(横文字数)

No	高さ	底辺	面積
3	10	10	14

ヘロン(横文字数)

No	a	b	c	面積
3	8	8	8	14

計算値制限値

赫々の処理に時間的な制限を決めスキップを行ないます。0で無制限(従来通り)になります。単位は、mm秒です

注意

2016.1月現在(AutoCAD2016)、入力インターフェースの非公式による仕様変更、およびOSのバージョンアップ等により、不具合が発生する可能性があります。特にクリップボードエラーが多発しており(使用者側からは見えませんが)、原因がつかめていません。何がしかの不具合があった場合は、情報を求めます。ご協力をお願いします。